

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 25年 9月 1日			
所属学部・研究科	総合科学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	Non degree			
在籍身分	Exchange student			
留学期間	平成 24年 8月 9日 ~ 平成 25年 6月 13日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: 米国総領事館 大阪			
	取得方法, 提出書類: DS-160 フォーム、DS-2019、SEVIS 費用確認書、面接予約確認書、パスポート、証明写真、その他補足書類			
	手続きに要した日数: 2~3週間			
その他必要な事前手続き	保険加入、航空券の購入など			
出国年月日	平成 25年 8月 9日			
経路	広島→成田→サンフランシスコ→リノ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他 友人) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	大学が始まる前に各種手続きを行った。1~2週間程度			
帰国年月日	平成 25年 6月 13日			
経路	リノ→サンフランシスコ→成田→広島			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	200 万	円	
	内訳	渡航費	30 万	円
		保険料	17 万	円
		教科書代(学費)	5 万	円
		宿舍費	48 万	円
		食費	25 万	円
		その他 ( 大学への 諸費) ( 娯楽費、郵送費、国内移動費) ( 費)	13 万 30 万	円 円 円
<b>3. 授業について</b>				
24年 秋学期	8月 27日 ~ 12月 16日			

25年 春学期	1月 22日 ~	5月 17日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	基本的に English Placement Test をパスした人は、留学生必須のライティングのクラス以外は自由選択です。	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	自分の専門分野で単位互換をするのもあり、逆に全く違った分野を学ぶのもありだと思います。	
<b>4. 生活等について</b>		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )	
住居の広さ	約 m <sup>2</sup>	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )	
住居費	1ヶ月当たり 約600ドル弱 (現地通貨)	約 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
留学先での住居全般に関するアドバイス	値段の面だけでいうと、寮は食事もつかず (ミールプランの料金は別途) 長期休暇中は滞在できないことを考えると割高。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
掛け金は	年間 約170000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	髄膜炎, おたふく (計約30000円) 梅田トラベルクリニック	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと		
(3) 危険を感じた地域, 状況		
夜に女子だけでダウンタウンに出ることは避けたほうがいい。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
湿気がなく空気が乾燥していた。化粧水やボディクリームなどがあると便利。また日焼け止めも、日本製のほうが使いやすいかもしれない。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 27年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 26年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に 就活と卒論のため )	
現在の状況および今後の予定・進路等	現在休学中。就活開始予定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に卒論以外の単位を取り終えていたため、現在休学している。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
1年といっても実質10ヶ月程度の期間です。あっという間に過ぎると思いますが、ぜひ楽しんでがんばってください。		

## 学習の概要に関するレポート

留学生は全員授業が始まる前に **English Bridge Test** を受めました。私はブリッジテストはパスしましたが、学部生の留学生に必須の **English 113** と **114** を秋・春学期通して受講しました。授業ではテーマに沿ったエッセイを何枚も書きました。先生は厳しい人ではなかったですが、はじめは英語でエッセイを書くのに時間がかかっていました。キャンパス内の図書館にあるライティングセンターやアメリカ人の友人に頼んで、文法やわかりにくい表現を直してもらい、何回もエッセイを書くにつれてミスやかける時間も少なくなったと思います。私は **Journalism** と **theatre** に興味があったので2学期を通していくつかのクラスを取りました。**Journalism** では初めに導入のようなクラスを取りました。授業じたいは先生も良い先生で楽しかったですが、ほぼ毎回のリーディング教材が多く授業に間に合わないこともありました。しかし次のセメスターでは少し上のクラスに挑戦しようと思い、**OISS** の先生とそのクラスの先生に掛け合い、事前に必要なクラスを取ることなく（交換留学のためそれらのクラスを取る時間がなかったため）興味のある **PR/Advertising** のクラスになんとか入れてもらうことができました。正直ガイダンスに出たあとこの授業で単位を取ることができるか悩みましたが、結果的に課題をこなすこともできとても良い勉強になったので、挑戦してよかったと思います。**Theatre** ではステージメイクアップや演技の導入クラスを取りました。どちらも基本的に実技のクラスで、教科書をもとに自分でデザインしたステージメイクアップに挑戦したり、モノローグをクラスで発表したりしました。どちらの授業もアメリカでしか経験できないような内容で、貴重な体験と学習ができたと思います。

クラスは大体週に2～3回、ものによっては土曜に一度だけ開かれるものもありました。すべてのクラスで予習や課題は当たり前で、日本にいたころよりセメスターを通して勉強していたと思います。特にセメスターの途中と最後にミッドタームとファイナルがあり、その前などは特に忙しくなります。春学期からは図書館に通い詰めになることも多かったですが、図書館はきれいで広いので快適に勉強することができました。クラスではよくグループで活動することが多く、初めのうちはアメリカ人の中に一人で躊躇しました。しかしグループに貢献したいと考え、言語の壁は関係なく自分にできることをするように努めました。その結果グループの一員として、課題を成し遂げることができたと思います。またはじめのうちはグループでの話し合いなど、聞き取れないことが多く話題に取り残されて発言もできないということがよくありました。しかしアメリカで生活するうち大体会話が聞き取れるようになり、そこでわからなかったことなどを質問することで、発言もできるようになり実際にグループでの活動に参加できるようになりました。難しいかなと躊躇するようなことでも実際に飛び込んでみると意外とこなしていけたり楽しめたりしました。やはり挑戦しない後悔のほうが大きいと思うので、興味のあることには挑戦してよかったと思います。またアメリカ人ばかりのクラスの中で友達を作るのは大変そうだとはじめは思いましたが、怖がらず話しかけることで良い友達がたくさんできました。

## 生活の概要に関するレポート

私は一年間を通して **White Pine** という寮に住んでいました。日本にいるときに UNR のウェブサイトを読んで、冬に余分な費用無しで滞在できる **Sierra Hall** とキッチンのある **Canada Hall** を希望にしていたのですが、結局第三希望の **White Pine** に決まりました。1つのスイートに二人部屋が4つあり、4人で一つのシャワーとトイレ、洗面台をシェアします。またスイートにつき一つのコモンルームがあります。一人目のルームメイトとは問題があり、スイートメイトの助けもあって運よくすぐに同じスイートの違う部屋に移動できました。そのルームメイトはとても良い人で、私たちは1年間問題もなく仲良くやっていけました。その子の実家でディナーをごちそうになったり、サンクスギビングにはその子の家族とカリフォルニアで過ごしたりしました。ルームメイトはアスリートで朝が早く、夜は早く就寝するので、夜型の私はコモンルームで遅くまで起きて課題をすることも多かったです。そういう意味で、自分の部屋とは別にコモンルームがあるのはうれしいことでした。また同じスイートの子たちや同じフロアの人たちも良い人たちで、たくさん友達をつくることもできました。とくに仲の良かった同じスイートの子とは、冬休みにホームステイさせてもらい楽しく過ごしたり、セメスター中は一緒に勉強したりジムに行ったりもしました。

私は21歳以上でミールプランをつけなくてもよかったので、日本にいるときに事前にメールでミールプランを外しました。代わりに学校が貸し出している冷蔵庫とレンジのセットを借り、シリアルや冷凍食品、外食やたまに食堂を利用して生活していました。ミールプランを外してよかったことは、ミールプランに縛られることなく好きな場所で好きな時間に食べることができ、食堂の食事に飽きることもなかったことです。逆に大変だったのは、キッチンがなかったので寮で食べられるものが限られ、近くに野菜や果物買える食料品店がなかったので偏った食生活になってしまったことです。

私生活では、以前演劇活動をしていたこともあり **Theatre department** が主体のお芝居のスタッフをセメスターごとに行きました。アメリカの演劇を経験することができ、さらにたくさんアメリカ人の友達が増え、楽しかったです。また現地には各国からの留学生のグループがあり週末にパーティをしたり、一緒に食事をしたりすることもありました。私はあまり行くことができませんでしたが、毎週日曜の夜にはサンデーディナーといって、キャンパス近くの家で留学生が集まる夕食会も開催されていました。春学期は図書館に通うことが多かったのですが、時間のあるときは近くの映画館にいたりアイススケートをしたり、買い物に行ったりしました。もう少しダウントウンを開拓できたらよかったなと少し後悔している部分もあります。寮対抗のフットサルチームに入ってみんなで試合をしたことも良い思い出になりました。

留学生活を通して、せっかくアメリカにいるんだから、という思いからアメリカ人の友人といることが多かったように思います。その分現地の学生の生活に順応した生活をしていました。旅行等もアメリカ人と行くことが多く、楽しくかけがえのない思い出をつくることができました。その反面、やはり日本人とは違って、アメリカ人と旅行するときはスケジュールをみっちりつめて、せっかく来たんだから有名どころを制覇するぞ、というようなツアリストライクな旅はできなかったように感じます。人によって何に重きを置くかは異なると思いますが、せっかくアメリカに行くので旅行や現地の人との交流など、バランスよく楽しんでほしいと思います。